

[様式 2]

動物循環器認定試験 資格審査自己評点表

資格審査

1. 申請者は各自で自己評点を行って下さい。評点方法については下表の「動物循環器認定医制度規程細則」の資格審査の評点基準を参照して下さい。
2. 発表・参加は1件毎の点数で、最大評点まで加算されます。自己評点の欄には各種別の最大評点以内で記入して下さい。

種別	評点項目	最大評点	発表・参加回数	自己評点
論文掲載	「動物の循環器」掲載論文	30点	筆頭著書 編、共同発表 編	
	他誌掲載の循環器学論文		筆頭著書 編、共同発表 編	
学会活動	日本獣医循環器学会	50点	発表 回、共同発表 回、参加 回	
	循環器学関連の他学会・研究会	10点	発表 回、共同発表 回、参加 回	
講習会	本学会主催の講習会・症例検討会	40点	講習会 : 発表 回、参加 回 症例検討会 : 発表 回、参加 回	
評点の合計				

動物循環器認定医制度規程細則

資格審査の評点基準

種別	評点項目	最大評点	評点	
			発表	参加
論文掲載	「動物の循環器」掲載論文 他誌掲載の循環器学論文	30点	10 (5) 点 5 (3) 点	—
学会活動	日本獣医循環器学会	50点	8 (4) 点	5 点
	循環器学関連の他学会・研究会	10点	4 (2) 点	2 点
講習会	本学会主催の講習会・症例検討会	40点	8 点	5 点

注：論文は、学会誌またはレフリー制度の整った学術誌に掲載されたものであること。
発表における括弧内数字は連名発表の点数を示す。
認定医講習会への参加は評点の対象外です。

- ・論文掲載は、代表的なものを10件以内で記入して下さい。

論文掲載	<p>記入例：小宮みぎわ, 佐々木紀之, 田辺哲也, <u>大森貴裕</u>, 福島隆治 (2013) : シロスタゾールを投与した洞不全症候群 Rubenstein II型の犬の1例-投与前後におけるホルター心電図検査所見-, 動物の循環器, 46(2), 43-51.</p> <p>記入例： <u>Fukushima R</u>, Yoshiyuki R, Machida N, Matsumoto H, Kim S, Hamabe L, Huai-Che H, Fukayama T, Suzuki S, Aytemiz D, Tanaka R, Yamane Y. (2013) : Extreme tetralogy of Fallot in a dog, J Vet Med Sci, 75(8) :1111-1114.</p> <p>応募者の名前に下線を引くこと.</p>
------	--

- ・学会発表は、代表的なものを10件以内で記入して下さい。

学会活動	<p>記入例：発表 <u>福島隆治</u> (2015)： パネルディスカッション-肺性肺高血圧, 第36回動物医学学会年次大会, 大阪国際会議場.</p> <p>応募者の名前に下線を引くこと.</p>
------	---

- ・講習会での講演・発表は、代表的なものを10件以内で記入して下さい。

講習会	<p>記入例：発表 <u>星 克一郎</u> (2015)： 死後の剖検にて犬糸状虫寄生を確認した猫の1例, 第103回日本獣医循環器学会内 症例検討会, 札幌コンベンションセンター.</p> <p>応募者の名前に下線を引くこと.</p>
-----	---

- ・ 学会活動での参加については、代表的なものを10件以内で記入して下さい。
- ・ 日本獣医循環器学会以外の学会・研究会の場合、循環器関連の講習会・症例検討会・シンポジウム・ワークショップ等であることが判るように記入して下さい。

学 会 活 動	記入例：参加 福島隆治（2015）：パネルディスカッション-肺性肺高血圧，第36回動物医学会年次大会，大阪国際会議場。
------------------	---

- ・ 講習会参加について、代表的なものを10件以内で記入して下さい。
- ・ 講習会参加は、本学会主催の講習会・症例検討会に限ります（認定医講習会は記入不可）。

講 習 会 ・ 症 例 検 討 会	記入例：参加 岩永朋子（2016）：房室解離と心室頻拍およびうっ血性心不全を呈した犬の1例，第105回日本獣医循環器学会内 症例検討会，福岡国際会議場。
---	--